

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町村名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
063665 鮭川村	②学校と地域の課題	その他	鮭川小・中学校において学校アンケートを実施している。「鮭川村や地域のことを好きだ」という項目については良い評価となっているが、「将来も鮭川村で生活したいと思っている」という項目には低い評価となっており、ふるさと学習への取組が求められる。	【鮭川小学校】 伝統芸能学習や、自然体験、食育学習、地域の方との触れ合いから地域の歴史や文化を学ぶ機会をつくる。 【鮭川中学校】 地場企業や地域の仕事、地域で働く大人との交流から、自身のキャリアや将来について考える機会をつくる。	【鮭川小学校】 伝統芸能学習、自然体験学習、食育学習、その他総合学習で地域の方が講師を依頼し、学びを深めている。 【鮭川中学校】 ふるさとCM作り、Waku waku work、地域で学び、地域で働く大人と交流する。	地域住民等が講師となりふるさと学習について取り組むことで、学校と地域との協働が進み、児童生徒の郷土愛が育まれる。	学校アンケート「鮭川村や地域のことを好きだ」の割合	92	%	95	93.5	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる ・様々な場面で地域人材と交流する機会を創出したことで、地域で生き生きと生活している大人の様子を伝えることができた。 ・村の文化や歴史を地域の大人から学ぶことで、郷土愛を育むことができた。 ・課題としては、関わってくれる地域人材が固定化されていることで、個人に対する負担感が増している可能性がある。 ・幅広い人材から参画いただくよう、活動の周知や広報を行うことと、積極的な声がけを行う。	https://www.vill.sakegawa.yamagata.jp/kosodate/svougaigakusyu/1347
063665 鮭川村	②学校と地域の課題	その他	同上	同上	同上	同上	学校アンケート「将来も鮭川村で生活したいと思っている」の割合	68	%	70	44	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる ・鮭川村で仕事をしている方や、生活している方の想いや考えを伝えることができ、将来のイメージを掴むことができた。 ・一方で、生徒が将来なりたい職業が村の中では少ないことや、重い物など暮らしやすさを考慮すると、難しいという意見もある。 ・住環境を整備していくことと並行して、地域で活躍している良質な大人と交流できる機会を増やしていく。	https://www.vill.sakegawa.yamagata.jp/kosodate/svougaigakusyu/1347

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。